

第 17 回北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会 開催報告

1. 日時

2024 年 7 月 26 日（金）15：00～

2. 場所

倶知安町役場 2 階 会議室



3. 委嘱状の交付

（町長より、本委員会より就任された委員へ委嘱状を交付）



4. 町長挨拶

- ・日頃より新幹線延伸に向けて皆様のお力添えをいただいたおかげで、ここまでこれたと感じている。改めて感謝申し上げる。
- ・本委員会も3年目を迎えており、今年度2回目の開催となる。本日議論する都市施設と西口広場の検討も大詰めとなってきている。引き続き、協力をお願いしたい。
- ・2030年度末の開業は大変難しい状況だと鉄道運輸機構から国土交通大臣に報告があったところ。地域だけではなく北海道全体として、道民の悲願である北海道新幹線札幌駅までの延伸を1日でも早く開業できるよう希望している状況。
- ・一昨日、上京し、自民党道連や北海道ブロックの国会議員に対し、国土交通省やJRTTと鈴木知事、北海道開業駅沿線の首長を交えて、工事の現況報告及び意見交換を実施した。
- ・倶知安駅の場合、現駅に新幹線駅ができるため、東西の駅前広場や道路の改良等が関わってくる。また、新幹線開業時期だけではなく、並行在来線の本数増強の見通しも立っていない状況。ダブルで見通しが立っていない状況の中で、右往左往しながら検討をしなければならない旨、倶知安町として意見を述べさせてもらった。
- ・札幌駅開業に向けた北海道新幹線の新たな枠組みとして、延伸推進会議が立ち上がる。こういう状況に陥ったからこそ、進捗状況や今後の見通しについて、関係者間で情報を共有していくことが大事だと思っている。



5. 議事

(1) 西口広場機能について … 資料1

(倶知安町 木村係長)

- ・資料1について説明

(青柳委員)

- ・西口検討2ケースの大前提として、ボイラー活用によって検討ケースⅠは成り立つと認識していた。ただ、金銭的に現実的ではないので、除排雪を含めシミュレーションしなおし

た理解で良いか。

(倶知安町 木村係長)

- ・あくまでも参考として除排雪を載せている。木質チップボイラー以外の再エネについては、現在検討を行っている。

(青柳委員)

- ・除排雪での対応も視野に入れているのか。

(倶知安町 木村係長)

- ・除排雪を取り入れる予定はないが、施設の規模に合う再エネまたは省エネを検討している最中である。除排雪は最終的にはゼロではない。

(吉田委員長)

- ・仮に、再エネ・省エネの可能性がまったく考えられない場合、除排雪も含めて検討する理解で良いか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・今回の資料はあくまでも参考として示している。
- ・同時並行で、東口広場も融雪として考えている。融雪を基本と考えているが、検討次第では、除排雪も含めて考えていくこともありえる。

(2) 都市施設機能について … 資料 2、3

(倶知安町 木村係長)

- ・資料 2、3 について説明

(吉田委員長)

- ・資料 2-1 トイレについて質疑応答を求める。
- ・検討ケース①の外部通路約 920 万円は屋外キャノピー設置費用か。

(木村係長)

- ・その通り。

(吉田委員長)

- ・ここのトイレ機能への経路等の検討は、本日決めたいとのこと。

(岩佐委員)

- ・3つの案でそれぞれ工事費などが記されているが、町として事業費を充てるイメージ化。

(倶知安町 木村係長)

- ・現時点で新幹線事業費はまだ確定していないが、資料 2 P.1 に記載の金額が上乗せされる流れ。

(青柳委員)

- ・物販や情報発信機能は確定しているわけではないとのことなので、検討ケース②の場合、スペース的には場所が固定化されると思う。検討ケース①、③の場合は、例えば物販機能の拡充も可能なのかと思った。

(倶知安町 西口主幹)

- ・現時点では、各機能のスペースは今の規模を確保したいと思っている。

(佐藤委員)

- ・再確認させていただきたいのだが、都市施設が開いていない時間帯かつ新幹線が運行している時間のトイレ利用の動線ということで合っているか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・そのとおり。

(佐藤委員)

- ・その人たちの為に、シャッター等をつけるかどうかの議論かと思う。駅のホームにもトイレがある中で、議論する必要がある。おもてなしの心としては必要かと思うが、整備費が1,000万円程度かかるのはどうなのか。

(倶知安町 木村係長)

- ・改札内にトイレはある。都市施設の営業時間が不明確ではあるが、都市施設の営業時間はもちろん中を通ることができる。ケース②であれば都市施設が閉まった後に新幹線が運航している間は中を通っていただく。

(窪田委員)

- ・検討ケース③について排水先要検討とあるが、経路が長いのに700万円でおさまるのかという点、近場で排水先があるのかという点が懸念に思った。

(J R 九州コンサルタンツ 古賀氏)

- ・これからの検討となる。

(岩佐委員)

- ・検討ケース②について、安価で意匠的にも工夫できる案は他にもないものなのか。パイプシャッターが高い印象を持った。

(J R 九州コンサルタンツ 古賀氏)

- ・一般的に安易なものとしてパイプシャッターをあげている。セキュリティ面の考慮は必要ではあるが、探せばこれより安価なものはあるかと思う。

(吉田委員長)

- ・追加トイレの排水は、JR側のトイレと接続するのはできないということで良いか？

(倶知安町 木村係長)

- ・勉強会の場でも挙がっていたが、協議次第。

(佐藤委員)

- ・改札の前に、JRに作ってもらえるといいかと思った。

(吉田委員長)

- ・多数決をとりたいと思う。

(二川原委員)

- ・検討ケース③の場合、トイレの台数が増えるというメリットがあるかと思う。トイレ掃除の手間は増えるかと思うが、混雑時に台数が増えるのは良いかと思う。

(阿部臨時委員)

- ・検討ケース①か②にしておいて、都市施設の営業時間を判断した上で、どちらかに決めるのがいいかと思った。検討ケース③を除けば、事業の金額もレイアウトも変わらないように思うので、検討が進むように思う。

- ・トイレが分散する場合、小さい方に集中することも考えられるので、一カ所に集約した方がいいように思った。

(二川原委員)

- ・台数が増えるという意味で意見させていただいた。

(阿部臨時委員)

- ・台数が増えるという意見かと思うが、トイレの設置場所が増えると、分散されると大きいほうのトイレにいかなくなる可能性がある。

(青柳委員)

- ・何を重視するかで、選び方が変わるかと思う。

(岩佐委員)

- ・工事費 1,000 万円が安いと思うかどうか。

(佐藤委員)

- ・新幹線開業時は、工事費はもっと高くなるかと思う。

(岩佐委員)

- ・今提案されているシャッターだと見た目は良いが、例えば、パネルのような扉にして、時間がくれば閉めるというようなものは可能なのか。費用がよりかかってしまうか。

(J R 九州コンサルタンツ 古賀氏)

- ・今回は天井高が高いので、パイプシャッターの方が安いかと思っている。

(佐藤委員)

- ・真ん中だけにパイプシャッターを設置する考えもできるかもしれない。そうすると工事費は下がるかもしれない。

(青柳委員)

- ・検討ケース③の排水経路が長いというのは今の左側のトイレの排水路が使えないという意味で記載してあるのか。

(J R 九州コンサルタンツ 古賀氏)

- ・それを踏まえて検討中という意味。

(吉田委員長)

- ・不確定要素が色々ある中で、今日決めなければならないのか。

(佐藤委員)

- ・駅舎のレイアウトが決まっていない段階だと思うので、ある程度、不確定なところはある中で検討が必要になるかと思う。

(青柳委員)

- ・本日挙げた不確定要素に対するメリット・デメリットを整理した上で、もう一度議論してはどうか。

(阿部臨時委員)

- ・JR 側と都市施設側の排水経路は別々にした方が機能的かと思う。

(吉田委員長)

- ・であれば、検討ケース③は可能性が低いかもしれない。

(佐藤委員)

- ・駅前東側ロータリー部分の開発次第で污水桟を引いてこられるかという話。

(窪田委員)

- ・複数の場所にトイレがあると、サインの誘導も複雑になるかと思う。
- ・トイレをするのに一度外に誘導するのは現実的ではないかと思うと、検討①でやるのであればきちんと誘導が必要。西口広場の形状にもよるかと思う。
- ・検討ケース②は一番金額がかかるが、現実的かと考えが変わった。

(岩佐委員)

- ・検討ケース①のままですべて風上室にしてしまうのはどうか。

(J R九州コンサルタンツ 古賀氏)

- ・今のやり方をすると、建屋形状となるので積雪に耐えられる構造にもする必要がある、整備費が最もかかるかと思う。

(吉田委員長)

- ・不確定要素が多い状況ではあるが、今の段階では検討ケース②を推す意見が多いように思う。いかがか。

(委員一同)

- ・異論なし。

(吉田委員長)

- ・続いて、トイレ機能のレイアウトについていかがか。個人的には、レイアウト調整案がいいかと思った。

(委員一同)

- ・異論なし。

(吉田委員長)

- ・最後に、資料3のセンターフォーリフト活用案について議論したい。

(二川原委員)

- ・外からは何が見えるのか？

(吉田委員長)

- ・羊蹄山が見える状況。

(岩佐委員)

- ・室内がいいと思う。

(青柳委員)

- ・室内に設置することと、センターフォーリフトの説明も示すといいと思った。

(倶知安町 西口主幹)

- ・センターフォーリフトと合わせてリフトのケーブルも譲っていただける話がきている。それも踏まえた上で、ご意見を頂戴したい。
- ・3機をまとめて設置した方がいいのか、分散した方がいいのかについても意見を頂きたい。

(岩佐委員)

- ・写真スポットにもなると思う。

(吉田委員長)

- ・室内に置く場合、3機あるうち、分散しておくか、2階または1階にまとめて置くかという議論かと思う。

(岩佐委員)

- ・不特定多数の人が最も多く行き来するのは、案③かと思う。個人的には、人の往来が多く、多くの人の目に留まる場所に設置するのがいいかと思った。

(佐藤委員)

- ・案①も生きているのであれば、足をつけるのではなく、ブランコのような形で、羊蹄山をバックに宙に浮いた形で写真スポットにできるといいかと思った。
- ・1階でも2階でも、写真を撮る時に、外の景色を背景にセンターフォーリフトを設置する
といいと思う。

(吉田委員長)

- ・センターフォーリフトはどのくらい重いのか。

(木村係長)

- ・150kg程度。

(青柳委員)

- ・冬こそみたいと思う。

(阿部臨時委員)

- ・個人的には、屋上において羊蹄山をバックに写真をとれると、インパクトはあると思った。
- ・雪の重さで壊れるものなのか。

(吉田委員長)

- ・屋上に冬季も1機置けるかを、次回までに事務局に検討していただく。

(窪田委員)

- ・センターフォーリフトは1機だけでもインパクトがあると思うので、屋上・2階・1階のそれぞれに1機ずつ置いてはどうかと思った。
- ・佐藤委員と同じことを考えており、屋内で宙に浮かせられるといいと思っていた。足をつけて乗ってもらうのはもったいないように感じた。
- ・屋上はフォトスポット、2階は外の景色を見ながら座れる向き、1階は広場を背にした形で配置できるといいかと思った。

(吉田委員長)

- ・センターフォーリフトをつるせるかどうかを次回までに事務局で検討していただく。

6. その他

(倶知安町 木村係長)

- ・次回は、西口広場の検討について、秋頃の開催を考えている。

以上